



中央公民館 「廃止」!?

市は、市民文化ホールと福祉文化会館（ともに中区小橋町）について、老朽化のため建物を廃止する方針です。そのうち市民文化ホールは千日前の新市民会館に合築移転されます。

福祉文化会館内の中央公民館は、操山学区の地区公民館を兼ねていたもので、学区内に公民館を新設し、中央公民館の機能は名称も含めて移転先を検討するとされてきました。

しかし、今議会で中央公民館の名称も公民館としての業務も廃止し、各地区館の統括機能などを新組織として設置すると突然方向転換しました。

市民的議論なく進めるべきではない

中央公民館は、各地区公民館のバックアップ機能だけでなく、国内外で評価される岡山のESD活動や、市民学習活動の広がり牽引してきました。

今回、「廃止」だけ明確な方向性が示されましたが、市民全体の社会教育活動にとってどうあるべきなのか、市民的議論は行われていません。

市民の自由な学びや取り組みを保障する上でも、社会教育機関としての中央公民館の今後について、慎重な検討と幅広い市民の議論が必要です。

福祉文化会館

このまま廃止でよいのか

福祉文化会館には、障害者センター、老人センター、女性ホーム、勤労青少年ホームが入居しています。このうち障害者センターは移転が検討されていますが、他は廃止の方向です。

市政ニュース



待機児童、中央公民館、国保、産廃、情報公開

市長にレッドカード

待機児童解消にならない

北長瀬みずほ住座再生事業

市の土地に認可外保育園!?



市営住宅

認可外保育施設

岡山市は、北区北長瀬の市営住宅みずほ住座を建て替えるにあたって、隣接市有地とセットで活用提案を募集しました。その結果、342人定員の認可外保育施設の提案が採用されました。提案が保育園の場合は「認可外」を募集条件としていたのです。用地は貸し出します。

子ども達の命や健やかな発達の保障をないがしろにしているといえませぬ。

自治体の保育義務を果たすには認可保育園の増設が必要です。市民の共有財産である市有地を認可外施設に提供するの、言語道断です。

認可外保育施設は設置基準が低く、全国的な死亡事故の発生率は認可保育園の20〜40倍です。さらに、最大342人という規模は、一般的な保育園規模の二倍以上です。また、待機児童が認可外保育園に入っても、「待機児童数」は減りません。

認可園を増やそう

こんなに違う「認可」と「認可外」

	認可保育園	認可外
保育士	100%	1/3以上
園庭	必置	規定なし
給食	自園調理	外部搬入有
市の監督	指導監査	立入検査
市条例	あり	なし

国保

2018年度から
県単位化

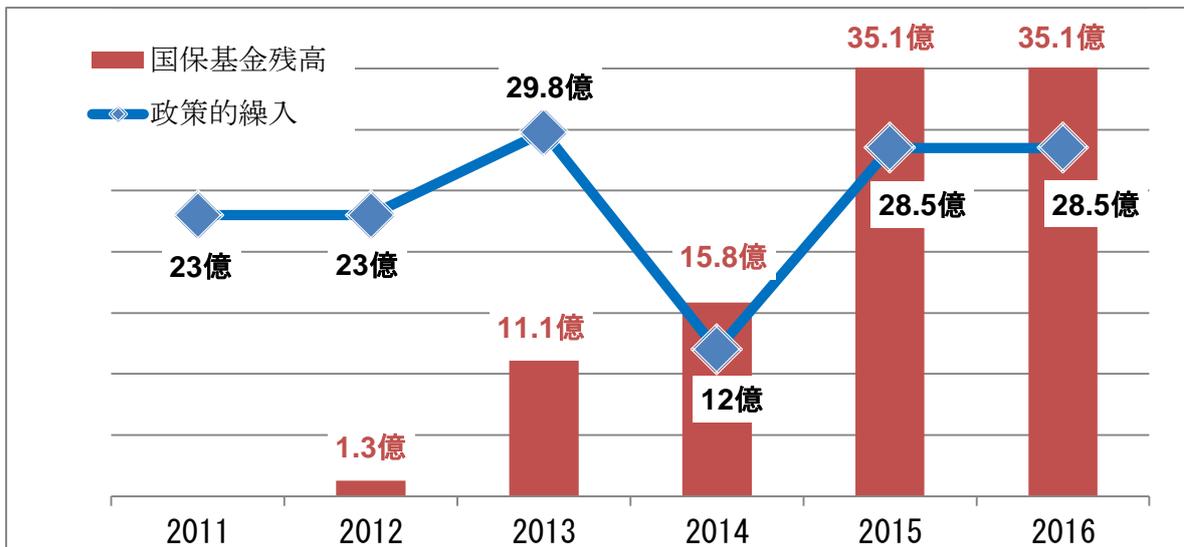
このままでは**9千円**値上げ！

岡山県は、来年度から県単位化される国民健康保険（国保）保険料の試算を発表しました。試算では、今までの一般会計からの政策的繰入を試算から外しています。岡山市では、一人当たり年間 8,868 円（基準額）の値上げになります。

大森市長は 8 月議会で、今後、繰り入れを解消・削減して「適正な」保険料を決めていく考えを示しました。

政策的繰入を続け 払える保険料に

2016 年度の国保会計は 21 億円の黒字で、基金も 35 億円あります。所得 200 万円以下の方が 7 割を占め、25%が滞納しているという被保険者の実情を踏まえ、「引き上げは許さない！」「払える保険料に引き下げを」の声をあげましょう。



御津虎倉の産廃を再許可 市民の飲み水を守れ

岡山市長は 8 月 8 日、西日本アチューマツ社が北区御津虎倉に計画している産廃処分場をあらためて許可しました。いったんは最高裁で業者の建設差し止めが確定していましたが、業者が出し直した計画を認可したものです。再審査にあたって市は、環境アセスや地元同意の取り直しなどを求めず、調整池容量を増やすという軽微な変更で再許可しました。

反対運動を続けてきた住民のみなさんは、各地で頻発しているような豪雨があれば汚染水が流出し、豊かな自然が壊れ、市民の飲み水が汚染されると、あらためて裁判に訴える準備をしています。